



P B 1 8 キャブレターキット 取扱説明書

商品番号 03-05-314(キャブレターキット) 03-02-042(マニホールドキット)
 適応車種 JINCHENG GROUP 製 JC50Q7

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
 この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
 商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
 他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
 当キャブレターキットには、STDエアークリーナーの取り付けが出来ませんのでエンジン内部に水分が入り込んだ場合エンジン不調の原因となりますので雨天中の走行はおひかえ下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。
 STDスロットルハウジング使用時には、スロットルバルブが全開にならない為、スロットルパイプの加工が必要となります。(P3. 図参照)
 当商品のキャブレターは、下記の状態でお荷しております。使用部品に応じたセッティングをする必要があります。個々のエンジンに合ったセッティングを行って下さい。
 当商品は、Sステージ専用品です。
 エアフィルターはラウンドストレートエアフィルター(03-01-102)が取り付け可能です。

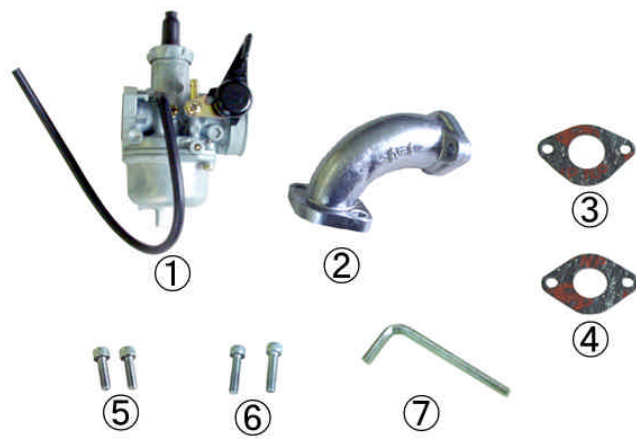
注意 下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。(ボルト、タップ部の破損および脱落の原因となります。)
- ・作業は、必ずエンジンおよびマフラーの冷間時(35以下)に行って下さい。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み、ガソリンの漏れ等がないかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行って下さい。(そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを始動する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンをかけないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・取り付け作業は、車両を安定させた状態で行って下さい。(車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行って下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。
 クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
 この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。



出荷時キャブレター状態

メインジェット	#90
パイロットジェット	#42
ジェットニードル	239507
クリップポジション	4段目
スロットルバルブ	6CA
エアースクリューオープニング	1回転戻し

No.	Description	QTY
1	キャブレターASSY.	1
* 2	インレットパイプ	1
* 3	キャブレターガスケット	1
* 4	インレットパイプガスケット	1
* 5	ソケットキャップスクリュー 6×20	2
* 6	ソケットキャップスクリュー 6×25	2
* 7	六角棒スパナ 5mm	1

*印は、マニホールドキットのキット内容を示しています。

取り付け要領

SET 内容を、御確認下さい。

(取り付け準備)

△注意：エンジン、マフラーが冷えていることを確認する事!!
車両を安定させる事!!

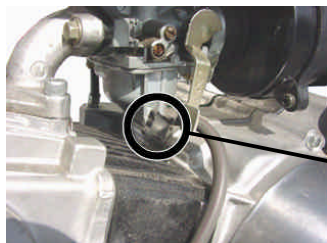
1. サイドカバーを外し、シートを外し、フューエルタンク内のガソリンを抜き取り、フューエルコックを閉じてキャブレター側のフューエルホースを抜きフューエルタンクを外します。

△警告：ガソリンの取り扱いには、十分注意する事!!



2. フューエルコックが閉じてあることを確認してキャブレターのドレンコックを開きフロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取ります。

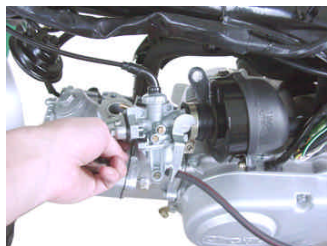
△警告：ガソリンの取り扱いには、十分注意する事!!



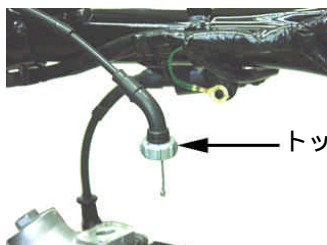
ドレンコック

3. インレットパイプ締め付けボルト、エアークリーナーマウントボルトを外し、エアークリーナーBOX、インレットパイプごとキャブレターを取り外します。

インテークポート内に異物等が入らないよう注意して下さい。



4. スロットルバルブをキャブレターから取り外し、スロットルバルブとスロットルケーブルを分離し、スロットルケーブルからトップカバーを抜き取ります。



トップカバー

5. 取り外した部品を袋等に入れ保管します。

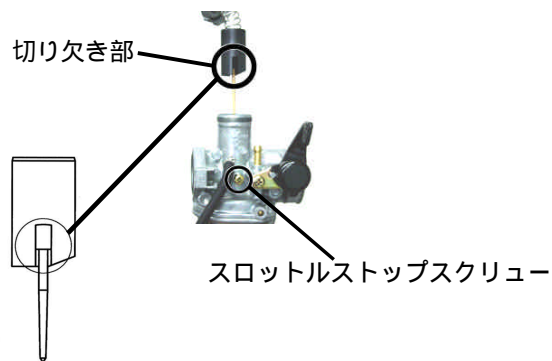
(取り付け)

1. P B 1 8 キャブレターのトップカバーを外しスロットルバルブスプリング、スロットルバルブを取り外します。



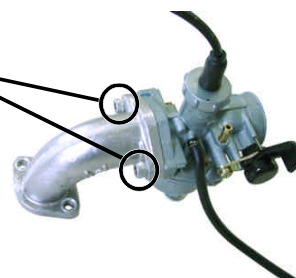
2. スロットルケーブルを無理が掛からないようにキャブレターまで取り回します。スロットルケーブルにキャブレタートップを取り付けスロットルバルブスプリングを圧縮した状態でインナーケーブルをスロットルバルブに取り付けます。

3. スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けます。



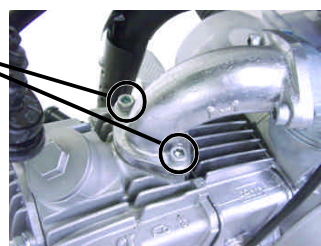
4. キャブレターとインレットパイプでキャブレターガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー 6 × 20 で取り付け、規定トルクで締め付けます。T=10N・m (1.0kgf・m)

トルク=10N・m
(1.0kgf・m)



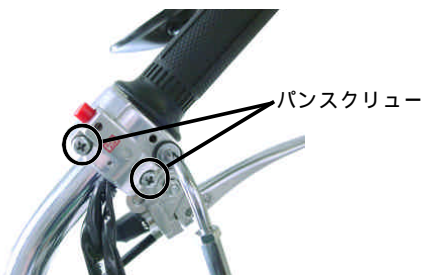
5. シリンダーヘッドにガスケット、インレットパイプの順に取り付けソケットキャップスクリュー 6 × 25 を規定トルクで締め付けます。T=10N・m (1.0kgf・m)

トルク=10N・m
(1.0kgf・m)

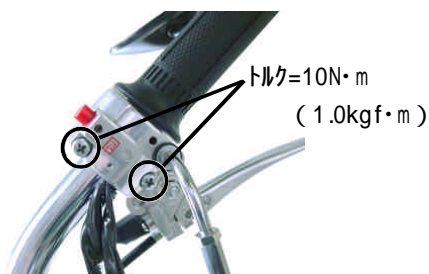


6. スロットルハウジングのパンスクリューを外し、スロットルケーブルを取り外します。汚れ、古くなったグリースを拭き取ります。スロットルパイプを取り外し、加工します。(P . 3 加工図参照)

スロットルハウジング、パンスクリューは再使用しますので、なくさないように注意して下さい。



7. スロットル摺動面にグリースを塗布し、スロットルハウジングを取り付けます。T=8N・m (0.8kgf・m)



8. スロットルケーブルのアジャスター部分で遊びを調節して下さい。スロットルを数回スナップさせ、引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。

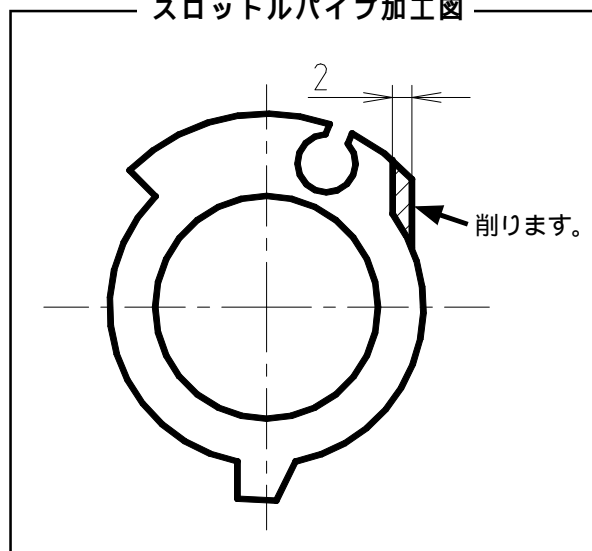
9. フューエルコックの方向、フューエルチューブの長さを調整し、フューエルコック、キャブレターに差し込みチューブクリップを取り付けます。フューエルコックを開き、各部からのガソリン漏れの有無を確認します。(コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。)



10. チョークレバーを引きエンジンを始動させ各部からの吸気漏れの有無を確認します。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖気後アイドリングしない場合や、アイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

11. 安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

スロットルパイプ加工図



SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒 5 8 4 - 0069

大阪府富田林市錦織東三丁目 5 番 1 6 号

TEL 0 7 2 1 - 2 5 - 1 3 5 7

FAX 0 7 2 1 - 2 4 - 5 0 5 9

URL <http://www.takegawa.co.jp>